

第4回 教育支援コーディネーター・ミーティング（報告）

「地域と共につくる学校」とコーディネーター ～研究発表会を見学

各地域で活動する教育支援コーディネーターのスキルアップとネットワークづくりのために、研修会「教育支援コーディネーター・ミーティング」を開催しています。

平成 23 年度第4回の「教育支援コーディネーター・ミーティング」は、地域連携を進め、研究発表会に地域も参加して行われた【杉並区立天沼小学校・天沼中学校連携研究発表会】の見学を中心に、「地域と共につくる学校」の具体的な事例から学ぶ機会としました。

あいにくの雨天でしたが、杉並区をはじめ、各地域多くの方々に御参加いただきました。落成して約1年の杉並区立天沼小学校（中島豊校長）を会場に、第4回教育支援コーディネーター・ミーティングを開催させていただきました。



■開催日時、開催場所

平成 24 年 2 月 7 日（金） 13 時 15 分～17 時 30 分 杉並区立天沼小学校

■対象

教育支援コーディネーター（学校支援コーディネーター、地域コーディネーター）
（区市町村）学校支援地域本部事業担当者

■参加者

文京区（1）、台東区（1）、江東区（1）、大田区（1）、世田谷区（1）、中野区（1）、杉並区（7）、板橋区（1）、葛飾区（2）、八王子市（5）、立川市（1）、三鷹市（6）、小平市（7）、東大和市（1）、多摩市（1）、団体等（1）
計38人

■テーマ

「地域と共につくる学校」とコーディネーター ～研究発表会を見学～

■プログラム内容

・「ガイダンス」（13時15分から13時45分）

研究主題の「規範意識を高め、よりよい生き方を主体的に考える児童・生徒の育成～小中連携による、道徳、生活指導及び体験活動の実践を通じて～」は、天沼小学校と天沼中学校とで、22・23年度と2年越しで取り組まれてきたものでした。

会場となった天沼小学校は、これまでも「地域と共につくる学校」を掲げ、日頃から支援本部のコーディネーターがアレンジした地域人材の導入などを行っています。今回は、研究主題にある「小中連携」を、授業に活かし、発表会そのものにも活かす試みと言えるものでした。

この日の主なプログラムである「公開授業」、「研究発表」、「ラウンドディスカッション」における、地域コーディネーターとしての見学のポイントについてガイダンスをしました。



- 研究発表会見学（13時45分から16時30分）

公開授業

地域本部の支援により、地域人材や外部団体の協力を得ながら行われた下記の授業を中心に、思い思いに授業を見学させていただきました。

「5年に書道を教わろう！」
2年生、生活科（伝統・文化）

「書道交流会をしよう」
5年生、総合的な学習の時間（伝統・文化）



地域本部が紹介した書道の師範をゲスト講師とした伝統文化の授業です。この日は、2年生と5年生の合同で行われました。ペアになって、時に5年生が2年生に、筆を持って教えています。

「天沼の町夢プロジェクト」
4年生
総合的な学習の時間
（キャリア教育）



青年会議所の協力を得た活動として、従来から身近な街の中の安全マップづくりを行っていたそうです。今年度は、「危険箇所」を探すだけでなく、チームで解決策を探るプロジェクトに取り組んでいます。例えば交差点での安全を高める工夫など、熱心にグループで話し合われていました。

「百人一首に親しもう」
6年生・中学1年
総合的な学習の時間
（伝統・文化）



アリーナ（体育館）を会場に、小学6年と中学1年が合同で、「百人一首」を行っています。床には、天沼小の畳とおやじの会が天沼小から運んだという畳が、各グループに2畳ずつ敷かれ札が置かれています。読み手は地域の先生です。読み上げられる上の句に、小学生も中学生も静かに、真剣な面持ちで向き合っていました。

校内展示

昇降口そば、常設のガラスケースには、「学校支援本部」や「コミュニティスクール」「PTA」に関する展示があります。展示は、普段から学校支援本部で担当しているそうです。



研究発表

授業見学後、3つの会場に分かれて研究発表とラウンドディスカッションが行われました。

研究発表では、小中共同で取り組まれてきた「規範意識を高める」活動の概要について説明がありました。

〔キャリア教育〕〔日本の伝統・文化理解教育〕
〔道徳〕〔学習規律〕の4つの領域ごとの分科会を設け、それらの分科会を相互に関連させながら進められてきた研究方法についての展示です。



ラウンドディスカッション



3つのテーマ

A: 「子供たちの規範意識の変化とコミュニケーション」

B: 「学校と地域が連携して育てる規範意識」

C: 「顔が見える安全・安心なコミュニティ作りと規範意識」

天沼小学校・中学校の教員・PTA役員・地域本部・コミュニティスクール運営協議会委員が丸くテーブルを囲み、観客が囲む形式でラウンドディスカッションです。

小学生と中学生も代表して2名ずつ参加し、「規範意識」をめぐって子供の立場から議論に参加していました。

最後に、天沼中学校の藤川校長先生から「2年間の取組の集大成ではなく、これが始まりです」とあいさつがあり、研究発表会は終了しました。

・解説と質疑（16時30分から17時30分）

見学を終えて、コーディネーターの井上さんに、天沼小学校支援本部「あまぬまワンダラーズ」の立ち、取組と特徴について、解説していただきました。



パンフレットを使って「学習」「学校運営」「課外学習」の各分野ごとの支援の概要や、毎年地域や保護者に募集を行っているプリントを具体的に紹介いただき、支援して欲しいプロジェクトごとに「あまぬまワンダラーズ」メンバーとして、支援者を募っていることなどを報告いただきました。

天沼小学校の中島校長先生も駆けつけていただき、「先生方が教科教育に専念するためにも、地域からの支援、コーディネーターをはじめとした支援本部の取組におおいに助けられている」とご挨拶いただきました。

参加者からは、「小学校と中学校それぞれの支援本部の連携」、「支援本部とCSやPTAとの関係」、「地域へのメンバー呼びかけ方法」など、学校と地域との関わりに関する質問が多く寄せられました。